

# 『広めよう！「人にやさしいまちづくり」』利用の手引

## 冊子作成の目的

上越市では、平成11年3月に「上越市人にやさしいまちづくり条例」を制定し、平成13年3月には、条例の基本理念を総合的・体系的に実現するため「上越市人にやさしいまちづくり推進計画」を策定し、だれもが安全に安心して、快適に暮らせる「人にやさしいまちづくり」を推進するための取組を進めているところです。具体的には、公共施設のトイレ改修や公共建築物ユニバーサルデザイン指針を策定し、指針を遵守した施設整備などに取り組んでいます。

さらに、既存施設についても指針に基づく検証を行い、施設利用者のご意見をお伺いしながら、今後の改修計画の方向性について検討しています。

また、市民にユニバーサルデザインの考え方を広めるためには、次代を担う子どもたちにユニバーサルデザインに触れる機会を設けることが重要であると考え、出前講座を開催するとともに、小学生向け啓発冊子『広めよう！「人にやさしいまちづくり」』の作成を進めてきました。先生方からは、当市のユニバーサルデザインの取組についてご理解いただき、**本冊子を授業などにおいて幅広くご利用いただくようお願いいたします。**

## 冊子の特色

### ①児童の学習意欲を高めるための工夫

- ・児童への問いかけ(1、2頁)
- ・気付きや発見、問題意識を高めるきっかけとするための吹き出しの活用(1、3、4、5頁)、

### ②児童の冊子に対する親近感の醸成

- ・イニシャルU(ユニバーサル)、D(デザイン)の児童や、教師による場面展開(1、3、4、5、6頁)
- ・市の施設や路線バス、直江津駅などの掲載(3、4、5頁)
- ・「心のユニバーサルデザイン体験談」で市内の小学生に聞いたことを掲載(7頁)

### ③児童が楽しみながら考え、学んでいく工夫

- ・クイズ「ユニバーサルデザインを探してみよう」(4、5頁)
- ・学校のユニバーサルデザインを探してみよう(7頁)

## 冊子の利用例

- ①地域や福祉について学習する際の教材  
(社会科の副読本「3・4年 わたしたちの上越」の中にも一部掲載)
- ②道徳の教材
- ③朝・帰りの会、学級会等でユニバーサルデザインについて学習する際の教材
- ④総合学習で「人とのふれあい」や「思いやり」について学習する際の教材
- ⑤出前講座の教材  
(市が学校へ講師を派遣し、ユニバーサルデザインに関する講話・体験等を実施)  
※出前講座の詳細については、上越市共生まちづくり課へお問い合わせください。

## 使用している漢字

- ・原則として、小学校で習う漢字を用い、その他は平仮名で表記しています。
- ・すべての漢字に振り仮名を付けています。

## 「障害者」表記の考え方

- ・上越市では、障害者関係団体等のご意見を踏まえ、法律等に定めのある場合を除き、「障害のある人」という表記に統一しています。

## 解 説

以下に、冊子を利用する際のポイントを掲載しています。

### 2頁・いろいろな人に、まちで困ったことや不便だと思ったことはないか、聞いてみよう。

#### ○一例

<p><b>(自分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の体験を考えます。</li></ul>	<p><b>(お年寄り)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・脚力の低下により、段差でつまずいたり、長い距離を歩くことができません。</li><li>・握力が弱まり、びんのふたを開けにくかったり、重いものを持てなくなります。</li><li>・視力が低下し、小さな文字を読むことが大変です。</li><li>・聴力が低下し、声をかけられても聞こえにくくなります。</li><li>・相手の言うことを理解しにくくなったり、物忘れが多くなります。</li></ul>
<p><b>(荷物を持っている人、ベビーカーを押している人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ドアを開けることが大変です。</li><li>・エレベーターのボタンを押すことが大変です。</li></ul>	<p><b>(おなかに赤ちゃんのいる人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道が滑りやすかったり、でこぼこ道だと転びやすくなります。</li><li>・階段では、足元が見えにくいので注意が必要です。</li></ul>
<p><b>(車いすの人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・段差があると前に進めません。</li><li>・でこぼこ道だと前に進みにくいです。</li><li>・一人で急なスロープや長いスロープを上ることは大変です。</li><li>・高いところにあるスイッチや自動販売機のボタンに手が届かないので困ります。</li><li>・ドアの狭いエレベーターは、車いすが入れないので利用できません。</li><li>・記載台が高いと字が書きにくいです。</li><li>・落ちたものを拾うのが大変です。</li></ul>	<p><b>(外国人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本語がよく理解できないため会話に不自由します。</li><li>・日本語だけの案内サインなどが理解できません</li><li>・習慣や文化の違いなどから戸惑うことがあります。</li></ul>

## ○・・・ほかにどんな人がいるかな。

### (耳が不自由な人)

- ・後ろから声をかけられても分かりません。
- ・車からクラクションを鳴らされても分かりません。
- ・耳が不自由なことを周囲の人に気付いてもらえないので、人のことを無視しているなどと誤解を受けやすいです。
- ・音声案内や火災時などの非常放送が聞こえません。

### (目が不自由な人)

- ・視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)上に車や自転車が停められていたり、看板が置いてあると困ります。
- ・視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)が途切れていて、進行方向が分からないことがあります。
- ・白杖(視覚障害者が使用する白い杖)が側溝のふたの穴などに入ってしまうことがあります。
- ・歩道と車道の境界が分からずに、車道を歩いていることがあります危険です。

### (観光客)

- ・初めての土地では、道が分からないため、目的地に行くことが大変です。

### (手や指にケガをしている人)

- ・水道の蛇口をひねることが大変です。
- ・ドアノブを回すことが大変です。

### (自転車に乗っている人)

- ・段差があると危険です。

### (オストメイト)

- ・直腸や膀胱の病気で、手術により腹部に人口肛門や人口膀胱を付けている人(オストメイト)が、外出時に利用できるトイレがないと困ります。

### (妊娠初期の人)

- ・おなかが目立たないので、周囲の人に気付いてもらえず、バスや電車で席を譲ってもらえません。

### (マタニティマーク)

- ・上越市では、妊娠中を意味するマタニティマークのキーホルダーとステッカーを配布しています。ステッカーを車やバッグにはっている妊婦さんが少しずつ増えています。

### 3頁・みんなが安心して暮らせる「人にやさしいまち」を目指して。 ～ユニバーサルデザインって何？～

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、個人の様々な状況、個人の能力にかかわらず、可能な限り「みんな」が利用できるように、まちや建物、環境、サービスなどをデザインする考え方です。また、デザインする過程で、多様な利用者の意見や視点を取り入れることを重視しています。

この考え方は、アメリカのノースカロライナ州立大学ユニバーサルデザインセンター所長であった故ロナルド・メイス氏によって提唱されたもので、7原則から構成されています。

#### 【ユニバーサルデザインの7原則】

- 1 だれにでも公平に使用できること
  - ・だれにでもできるように作られており、かつ、容易に入手できること
- 2 使う上での自由度が高いこと
  - ・使う人の様々な好みや能力に合うように作られていること
- 3 簡単で直感的に分かる使用方法となっていること
  - ・使う人の経験や知識、言語能力、集中力に関係なく、使い方が分かりやすく作られていること
- 4 必要な情報がすぐに理解できること
  - ・使う人の視覚、聴覚などの感覚能力に関係なく、必要な情報が効果的に伝わるように作られていること
- 5 うっかりエラーや危険につながらないデザインであること
  - ・ついうっかりしたり、意図しない行動が、危険や思わぬ結果につながらないように作られていること
- 6 無理な姿勢や強い力なしに楽に使用できること
  - ・効率よく、気持ちよく、疲れないで使えるようにすること
- 7 アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること
  - ・どんな体格や姿勢、移動能力の人にも、アクセスしやすく、操作がしやすいスペースや大きさにすること

(新潟県ユニバーサルデザイン推進基本指針による)

※冊子に掲載している7原則は、児童が理解できるよう簡単な表現を用いるとともに、イラストを交えながら具体例を紹介しています。

## 4、5頁・ クイズ ユニバーサルデザインを探してみよう。

### ○主な写真の説明

#### ④つまずきにくく手すりが2本ある階段(上越市役所)

- ・高さの違う手すりを選ぶことで、背の高さに関係なく、楽に手すりを使えます。
- ・階段の先端を目立たせて、踏み外しやつまずきを防止しています。

#### ⑤絵文字のサイン(市民プラザ)

- ・絵文字(ピクトグラム)をみただけで、子どもや外国人でもすぐに理解することができます。

#### ⑥床が低くてスロープのあるバス(ワンステップバス)

- ・床が低いので、お年寄りなど足腰の弱い人でも楽にバスに乗ることができます。
- ・車いすの人が利用する際には、バスの中に装備してあるスロープを出して車いすのまま乗降できます。

#### (利用方法)

- ・すべての路線バスが、ワンステップバスではないことから、車いすの人が利用する際には、事前にバス会社へ連絡が必要になります。

#### ⑦エレベーター、エスカレーターと階段(直江津駅)

- ・エレベーター、エスカレーター、階段が並んであるので、利用する人が体調や好みに応じて選ぶことができます。

#### ⑧広くて手すりや小さい子ども用のいすのあるトイレ(町家交流館高田小町)

- ・車いすの人、小さい子どもを連れた人などが安心して利用できるように広いスペースがあり、手すりや小さい子ども用のいすも設置されています。

#### (マナーを守ろう)

- ・車いすの人、小さい子どもを連れた人などいろいろな人が利用するトイレでは、利用する際には、お互いが譲り合って気持ちよく利用する必要があります。

## ⑨視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)がある広い歩道(五智歴史の里会館)

- ・だれもが安全に通行できるように段差のない広い歩道が設置されています。
- ・目の不自由な人も利用できるよう視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)も敷設されています。

### (マナーを守ろう)

- ・視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)上に自転車を止めたり、物を置いたりすると、目の不自由な人の通行の妨げや事故・転倒の原因となることから、自転車を止めたり、物を置かないようにすることが必要です。

## ⑩障害者駐車場(市民プラザ)

- ・建物周辺に一般の駐車場、出入口付近に障害者駐車場が設置されており、障害のある人だけでなく、だれもが利用できる駐車場になっています。
- ・障害者駐車場は、屋外スロープ(閉鎖中)の下を利用することにより、雨や雪が降ってもぬれずに車の乗降ができます。
- ・一般の駐車場よりも幅員が広く、駐車スペース内に国際シンボルマーク(車いすのマーク)や乗降場所の斜線表示を行っています。

### (マナーを守ろう)

- ・障害者駐車場は、障害のある人がいつでも利用できるように、ほかの人は駐車しないようにすることが必要です。

## 1頁・学校のユニバーサルデザインを探してみよう!

### 〇一例

- ・玄関のスロープ…段差がないので楽に移動できます。
- ・学校全体の案内板…初めて学校へ来た人も教務室や教室の位置が分かります。
- ・保健室や図書室の出入口にある絵文字のサイン…一目で保健室、図書室が分かります。
- ・手すりのついた階段…足にけがをしたときは、手すりにつかまって体を支えることにより安全に上り下りできます。
- ・先端の色が目立つ階段…踏み外しやつまずきを防止します。
- ・洋式トイレ…足にけがをしたときは、足を曲げずに用が足せます。
- ・使いやすい高さの水道の蛇口…低学年でも使いやすい高さになっています。

## ○そのほかのユニバーサルデザインの一例

### 【まちの中】

- ・自動ドア…手を使わなくても開閉できます。
- ・スロープ…段差がないので楽に移動できます。
- ・高さの違う手すり、水のみ場…使いやすい方を選ぶことができます。
- ・音響装置付信号機…目の不自由な人に音で知らせます。
- ・休憩用ベンチ…いつでも休憩できます。

### 【家の中】

- ・缶ビール…飲み口のところに点字で「ビール」、「おさけ」などと表示しています。
- ・両利き用はさみ…右利きでも左利きでも使えます。
- ・斜めドラム式洗濯機…楽な姿勢で洗濯物を取り出せます。
- ・レバー式のドアハンドル…手や指にけがをしていても楽に開閉できます。
- ・電気のスイッチ…だれでも使い方が分かります。

## 8頁・ ユニバーサルデザインで、みんなが 安心して暮らせる「人にやさしいまち」をつくろう。

- ・ユニバーサルデザインで、「人にやさしいまち」をつくるには、道路や建物などのハード整備だけでは、限界があります。
- ・わたしたち一人ひとりがいろいろな立場の人の気持ちになって、思いやる・譲り合う・助け合うという「心のユニバーサルデザイン」が基本になります。
- ・「心のユニバーサルデザイン」には、特別な技術、道具やお金は必要ありません。人を思いやるやさしい気持ちさえあれば、だれでも取り組むことができます。

### （「心のユニバーサルデザイン」の一例）

- ・障害者駐車場に障害のある人以外は駐車しないようにしましょう。
- ・視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）上に自転車などを止めたり、物を置かないようにしましょう。
- ・多目的トイレは、譲り合って利用しましょう。
- ・お年寄り、目の不自由な人や妊婦さんなどに席を譲りましょう。